

公 示

日本聖公会東京教区第117(定期)教区会を下記のように招集します。

教主降生2011年10月12日
日本聖公会東京教区
教区会議長
主教 アンデレ 大畑 喜道

記

日時 2011年11月23日

(水・休日)

午前9時から午後5時まで

場所 開会聖餐式
聖アンデレ主教座聖堂
議 場
聖アンデレホール
東京都港区芝公園3-6-18

書記を次のように任命する。

司祭 アンデレ 香山洋人
執事 クララ 佐久間恵子

上



被災者支援チャリティイベント

真光教会

演奏 大竹広

治(VI)他2名 11月1日(火)18

時半、同教会、千円、照会 09

0(2738)5390・松田

秋のバザー(3)

10月30日 聖教主(10時)15

時)八王子復活(11時)14時・幼

稚園合同)神田キリスト(11時半

14時半)三光(11時半)15時

半)目白(12時)14時)真光(12時

14時半)聖三一(12時)15

時)聖マルチン(12時)15時)

掲載記事転用の場合は事前連絡のこと

【クローズアップ】97

「聖地ろつあ子ども里」

ワークキャンプに参加して
9月3日、16日、ヨルダンの首都アンマン近郊の古都サルトにある、「聖地ろつあ子ども里」ワークキャンプに女性7名、男性2名が参加。往路エルサレムに立ち寄り、ダワーニ主教ご夫妻にご挨拶し、5日午後、施設に到着しました。

施設は1964年開設、現在、エルサレム教区の働きで150余名のろつあ子ども達が共に生活し、学び、職業訓練を受けています。職員・教師には、欧米諸国からも20〜30歳代の青年達が、短期・長期ボランティアで奉仕していました。施設長はベイルートから招聘され

た聖公会司祭のBr.アンドリュウ。巨漢ですが気さくで優しく子ども達の人気者でした。

今回の仕事の一つは、杉・松等高木の枯れ枝の剪定。高所作業車までレンタルされており、期待の大きさが伺えました。毎朝、子ども達と一緒に礼拝後、チェインソーを持って作業車に乗りこみ、作業を始めました。10m位の高所の作業もあり、切断時の予期せぬ危険に注意しながら剪定を行いました。地上の8人が細断、束ね、運搬、清掃など手際よく処理し、遠くの集積所に毎日何十回も人力で運びました。子ども達は興味津々、すれ違ふとき目を輝かせ親指を立てて挨拶してくれました。Br.

アンドリュウは写真班を連日配

置したり、メンバーの2人がたまたま誕生日を迎えることを知ると盛大に祝ってくれたり、我々の仕事が評価されたなど感じました。しかし、女性陣は子ども達との触れ合いや厨房の手伝い等いろいろ奉仕を予定していたのに、剪定作業に駆り立てられ、落ち着いた人的交流ができず、不本意だったと思います。

夕食後の反省会で、明日の活力を養い、2日間の休日には、ペトラ遺跡、古代遺跡シエラシユヤエルサレム、エリコ、死海を一望できるモーセゆかりのネボ山などを観光でき、初めてのワークキャンプという貴重な体験に花を添えてくれました。

葛飾茨十字教会

佐々木 國夫